



ニセ電話  
詐欺に  
効果あり

県警察では、昨年9月から被害に遭う可能性の高い高齢者に機器を貸与する事業を行い、貸し出した方へのモニター調査をした結果、

- 迷惑電話が減った・・・89%
- 安心感を得られた・・・97%
- 被害防止に効果がある・・・98%
- 親戚や知人に紹介したい・・・94%

と効果があるとの評価を受けました。(平成28年実施)

■ 機器の4つの効果

迷惑電話番号  
リストの電話番号  
を自動で  
**着信拒否**

この番号はお受け  
できません。

相手に通話を  
録音することを  
**事前警告**

この通話は  
録音されます。

電話に出る前に  
アナウンスで  
**注意喚起**

迷惑電話に  
ご注意ください。

通話内容を  
**自動録音**

65歳以上の高齢者の**91%**が**固定電話**に掛かってきた電話にだまされて被害にあっています。

家電販売店で購入できます。ぜひ、御検討ください。

気づかせ隊のみなさまへ 機器の普及にご協力をよろしくお願いします。

電話でお金はすべて詐欺！すぐに相談110番！

架空請求詐欺にご注意ください！

警察官かたりの架空請求詐欺

手口.....

犯人が電話を利用して福岡県警察の警察官をかたり、「詐欺グループから押収した通帳にあなた名義の通帳が出てきました」、「あなたの名前や住所が載っている名簿が出回っている」などのトラブル等を名目として、現金を口座に振り込ませる等してだまし取ろうとする手口です。

対策.....

警察官が、突然電話で現金や通帳などを預けるよう要求することはありません。警察官を名乗る者から電話があった際でも、相手の名前や部署を確認した上、一旦通話を切断し、電話帳などで電話番号を調べて電話をし、実在する警察官かどうかを確認してください。



電子マネーを購入させる架空請求詐欺

手口.....

「サイトの料金未納」「退会手数料の支払い」などの名目で、コンビニエンスストアなどで電子マネー(プリペイドカード)を購入させ、そのID(カード番号)などを電話やメール、FAXなどで知らせるよう要求して、そのカードの額面分のお金(利用権)をだまし取る手口です。

対策.....

通常、業者が直接、電子マネーのID(カード番号)などを要求してくることはありません。身に覚えのない内容や不審な請求があった際は、1人で悩まず、必ず家族や警察に相談しましょう。

電子マネーカードとは

コンビニエンスストア等で購入できるマネーカードです。カード自体には価値はなく、カードに記載された番号をインターネット上で入力すると、電子マネーとして利用することができます。

福岡県のニセ電話詐欺の被害状況

■ 被害額と被害件数

	被害額(億円)	件数(件)
平成27年	18.4	497
平成28年5月	2.3	144

■ 年齢別割合

64歳以下 33%

65歳以上 67%

■ 男女別割合

男性 26%

女性 74%

1日の平均被害額 約 **260万円**

(平成28年5月末)

阻止件数の推移

前年同期比

	H27.1~5	H28.1~5
金融機関(件)	84	36
その他(件)	80	114
阻止額(億円)	4.7	1.6

ニセ電話気づかせ隊発足以降、金融機関以外の方の**阻止件数**が、**大幅に増加**しています。

本年中の阻止件数(5月末累計)

- 金融機関職員・・・36件
- その他の方・・・114件

家族、通行人、公務員、コンビニ店員、知人・友人、タクシー運転手、病院職員、配送業者、警備員、介護士など

**ニセ電話詐欺  
気づかせ隊**

平成28年5月末現在、  
**8,599団体**  
**28万9,113人**  
の方が参加中です。

電話でお金はすべて詐欺！すぐに相談110番！